昭和39年6月27日発行　号外

徳地町報

発行所　徳地町役場
発行者　徳地町
編集者　河村繁
印刷所　今澄印刷所

雨期の災害予防に注意しよう

防石鉄道七月一日から廃止

線路敷は産業道路に建設される

四月三日防石鉄道（防府ー堀間一八、八キロメートルの運行廃止の同意書、防石鉄道株式会社との協定書に調印されたことは、四月号町報でくわしく報告しましたが△その後、中央方面では、五月十一日運輸省告示第一七〇号をもって、運輸審議会件名表に登載し、五月二十九日以後、数回にわたって運輸審議会で審議を重ねた結果△ついに六月十八日、防石鉄道株式会社が申請した「防石鉄道営業廃止許可申請」が△運輸大臣より正式許可になりました。

しかし、鉄道営業は六月三十日まで、従来どおり営業されることになっていますので、完全に鉄道運行が廃止されるのは、七月一日からになります。七月一日以後徳△地町地図の上から、四十余年の歴史とゆいしよある二条の鉄路が永久に消えさることになりました。町では会社との協定書に基づいて、防府市とタイアップしてでき△るだけ早く「産業道路」として開発する準備を進めております。そこで、防石鉄道△存続期成同盟会では、六月二十七日役員会を開き会の目標と任務が無くなったので△解散することを決めました。今後は「道路建設推進委員会」（仮称）のように姿と△形の変った組織が考えられております。

現在までの経過

防石鉄道は、大正初期、防府を基点として石見益田まで敷設を目標に、防府ー堀間一八、八キロメートルが建設されたものですが国鉄山口線の開通により、ついに当初敷設せられた防府ー堀間のみで、四十数年間、徳地町、防府市の文化、産業の交流、へき地の開発に多くの貢献をしてきました。

その間、わたしたち町民のなじみ深い存在であつたし、いまなお愛着の念は大きいものがあります

しかし、防石鉄道株式会社では永年にわたる鉄道経営の赤字と踏切道改良工事の資金難などの理由で、昭和三十七年五月二十八日の株主総会において、鉄道営業の廃止を決議し、町に対し「同意」を求められました。

昭和三十七年九月十二日、中央公民館で町民大会が開催せられて同大会において「防石鉄道存続期成同盟会」が結成せられ、一万余名の署名を集め、中央関係機関に強く鉄道存置の運動を進めてきましたが、現段階では

一　踏切道の改良を行なわないかぎり、三月三十一日かぎり鉄道運行ができなくなること。

二　現在の軌道枕木の老朽化により危険防止のため、運輸省より鉄道運行の停止命令がだされる見込が強いこと。

以上のように最悪の状態になつたので、三月二十八日、中央公民館で町民大会を開催し、いろいろ論議を重ねた結果、一定の条件をもつて会社と交渉し、妥協するという方針が打ち出されました。

そこで、いろいろ会社側と交渉を重ねた結果、次の協定事項に到達したので、四月三日ついに、鉄道営業廃止に同意を与えるとともに、協定書に調印したものであります。

鉄道営業廃止の同意についての協定内容

一　防石鉄道株式会社所有の新橋踏切ー堀間の鉄道線路敷を道路用地として無償にて提供すること。

一　通学定期運賃については、昭和三十九年四学入学の生徒をふくめて在学生が卒業するまで鉄道運賃をそのままバスに適用すること。

通勤者については他社の例により一年間、鉄道運賃をそのままバスに適用する。

一　国鉄との連絡運輸については従来どおりとすること。

一　鉄道の運行については、監督官庁の許可するかぎり誠意をもつて運行する。

いよいよ七月一日から

防石鉄道の運行廃止

このような経過をたどってきましたが、いよいよこの問題に終止符をうつ歴史的な一瞬がやってきました。

さる五月十一日運輸省では、告示第一七〇号をもって、運輸大臣の諮問機関である「運輸審議会」の「運輸審議会件名表」に登載し五月二十九日以来、慎重に審議のすえ運輸大臣の決裁を得て、六月十八日付けで正式に鉄道営業廃止が許可されました。

ただし、六月末日までは、従前どおり運行しますので、事実上完全に廃止されるのは、七月一日になるわけです。

あと、二〜三日で徳地町地図のうえから、二条の鉄路が永久に消えさる歴史的な瞬間がやってきました。

防府市と協力

産業道路の建設を急ぐ

町では、こうした情勢に対処するため、防府市と密接な連携を保ちつつ、相互に協力して、防府市と徳地町を結ぶ「産業道路」の建設を計画、準備しております。

町としては、当然の責務である住民福祉の向上、利便供与のため最善の努力をいたすつもりでありますけれども、なにしろこの道路建設には、徳地管内が約二千五百余万円、防府管内は約四千六百余円というぼう大な金がいるのでその稔出に苦慮しております。

しかし、徳地町、防府市のおかれた特殊事情を県、国の関係当局もよく理解されているので、先般も前記金額を申請した「一般単独道路整備事業債」を本年度の山口県割当起債五千五百万円のうちから防府市に七百万円、徳地町には四百万円の起債許可が内定しております。

軌条の撤去は、七〜八月の二カ月間に行われる予定ですから、その後、具体的に道路建設に入いることになる予定です。

有終の美収めて期成同盟会の解散

このような時代の推移によって「防石鉄道存続期成同盟会」はその当初の目標であった、防石鉄道そのものの存続は実現できませんでしたが、鉄道を自動車に転換して、変った形で、鉄道存置の目的を達したことが確認されました

また、期成同盟会の猛運動の推進が、町と会社との協定書の内容に有利な成果と貢献をもたらしています。

同盟会（会長、藤岡島一氏）では、一応の任務達成を機会として六月二十七日の役員会で、期成同盟会の解散を決めましたので、この町報号外で期成同盟会解散のご報告といたします。

長期にわたるご心労とご努力に深く感謝申しあげます。

なお、関係者の間では今後の問題である「産業道路」の建設を強力に推進しようと「道路建設推進委員会」（仮称）の結成も考えられております。

もちろん町としても、全力をあげて沿線住民の方々のご不便を一日も早く解消し、安心して生業にお励げみいただけるようお約束と努力をいたします。

しかし、ここ当分の間はご不便も多いと思われますが、しばらくのご辛抱をお願いいたします。

以上で、防石鉄道廃止についてのご報告のため、町報号外を発行した次第であります。